

大牟田市立明治小学校

1 本校のESDの特徴

本校周辺には、介護老人福祉施設、幼稚園・保育園、多目的交流施設、公園、病院等の施設がある。工場地域も抱えており、市のリサイクル施設やリサイクル関連企業がある。このような校区環境の中で、本校はエネルギー環境教育、福祉教育を中心にESDに取り組み、エネルギーや自然環境への関心を深め実践につなげる子ども、高齢者や体の不自由な人をはじめとする身近な人々に目を向け、自分にできることは何かを考えることができる子どもの育成を目指している。

また、平成27年度よりエネルギー教育モデル校としても活動している。4・5・6年生の総合的な学習の時間や理科・社会科などの教科の時間において、「持続可能な社会の構築に向けたエネルギー教育」をテーマに実践を進めている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	エネルギー・環境		福祉	
1年	めいじと なかよし だいさくせん1 (グリーンカーテンなど)	6月 生活	めいじと なかよし だいさくせん2 (幼保小交流など)	11月 生活
2年	めいじのすてき みつけたい (学校のまわりの探検など)	11月 生活	あそび大すき あつまれ (異学年交流など)	9月 生活
3年	めざせ エネルギー博士	11月 総合	高齢者に昔のことを学ぼう	1~3月 総合
4年	くらしの中のエネルギー	9~12月 総合	車いすとバリアフリー	4~7月 総合
5年	ぼくたち、私たち環境探検隊	4~9月 総合	ふれあいを広げよう	9~12月 総合
6年	エネルギーのまち 大牟田	9~12月 総合	未来への扉を開こう	1~3月 総合

3 特徴的な活動事例

＜「持続可能な社会の構築に向けたエネルギー教育」＞

『平成28年度テーマ「エネルギー消費と環境との関わり」』

(1) ねらい

- 総合的な学習の時間、理科の時間を中心に、くらしの中で使われているエネルギーについての理解と実践への意欲を高める。
- 自分たちの生活が多様なエネルギーに支えられていることを理解させるとともに、エネルギーの消費が環境に影響を及ぼしていることに気付かせる。
- 自分たちにできる省資源・省エネルギーについて考え実践することで、思考力・判断力・実践力を高める。

(2) 実践の展開

① 3年生「めざせエネルギー博士」

理科で太陽の光が明るさと温かさを届けてくれていることを学習した後、たくさんの光を集めるとどのようなことができるだろうかと考えさせ、課題につなげた。

太陽の光で電気が作られることや熱を生み出すことに気付いていった。太陽焦熱炉を使ってサツマイモを蒸かし、調理もできることに驚いていた。



② 4年生「くらしの中のエネルギー」

資源エネルギー庁発行の副教材「かがやけ！みんなのエネルギー」を活用し、発電の仕組みや電力の供給、エネルギー資源について調べたり話し合ったりした。

電気が計画的に作り出されていることを知り、その電気が発電所からどのように家庭まで届いているのか発電と送電についてまとめた。

また、発電にともなう環境への影響についても考え、環境を守るための取組として九州電力の涵養林の見学とともに、再生可能エネルギーによる発電法として八丁原地熱発電所の見学を行った。



③ 6年生「エネルギーのまち大牟田」

三池炭鉱での石炭採掘の歴史について調べた。石炭によって発展した大牟田であるが、国のエネルギー政策により炭鉱が衰退していったことを理解した。RDFやメガソーラー発電など再生可能エネルギーへの転換が図られ、新しいエネルギーのまちに変化していることに気付いた。また、大牟田ガスの出前授業によりこれまでの学習をさらに深めることができた。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・学年の系統を意識してエネルギー環境教育に取り組んできたことにより、6年間を見通した指導ができてきた。
- ・九州電力や大牟田ガスなどの企業の協力、実験に使う教材の充実などに伴い、より体験的な学習を進めることができるようになった。

○課題

- ・省エネ、省資源のための具体的な実践力の育成がまだ不十分であり、視覚化を図りながら、子どもたちの意識を高めていきたい。